



学校だより

やまゆり

2018年3月号
平成30年2月28日
横浜市立大口台小学校

「わくわく トライ 大口台」1年のまとめの季節

校長 田川 斉史

暖冬といわれていたのに、朝晩は凍みるような厳しい寒さが続いています。とはいえ、各地では歴史的な大雪や寒波の被害が出ている所もあります。雪に弱い横浜などの都市部の学校は、子どもたちの喜びとは裏腹に、雪の予報にはことのほか気を遣います。みなさまには、通学路の安全確保にご尽力いただきありがとうございます。

さて、「1月行く、2月逃げる、3月去る」という言葉がありますが、どういう意味でしょうか。1月は正月があり（楽しくて勢いがあるがあっという間に終わってしまう感じ）、2月は元々28日で普通の月より短く（気が付いたら月末…）、3月は年度末なのでやることが多い。こうしたことから、1、2、3月は日が早く過ぎる（やることが多いのに思うように進まない）ということを表すのが、「1月行く、2月逃げる、3月去る」という表現です。1月の「いち」の最初の音「い」を使って「行く」、2月の「に」の音を使って「逃げる」、3月の「さん」の最初の音「さ」を使って「去る」というように言葉遊びの要素が入っている表現です。一種の頭韻ですね。（諸説あり…）

進学、進級に向けて各学年もいよいよまとめの時期に入りました。特に6年生は卒業を控え、慌ただしく日々が過ぎていきます。大口台小学校での時間を大切にしていってほしいと思っています。

♠大口台の丘の上に「やさしい風」

NHK学校音楽コンクール第70回を記念して、2002（平成14）年に歌詞を全国の小学生から募集して、588作品のうちの最優秀作品を、この年の小学校の部の課題曲の歌詞としました。作詞は、当時小学6年生の萩原あゆみさん（横浜市立並木第二小学校〔現在は並木中央小学校に再編統合〕）。この曲を合唱部が市児童音楽会で歌いました。

【この詩のエピソード】

あゆみさんは気がやさしくて少し引っ込み思案。人前で話すことはちょっと苦手。発言するときも小さな声でもじもじと…。いつも隣にいたのが仲良しのあかねさん。活発で物事をはっきり言うタイプ。でも出しゃばったことは嫌いで、しっかり者。小さい時から仲良しのあゆみさんといつも一緒にいました。でも、そんな二人は6年生の時、大喧嘩をしてしまいました。しばらく口をきかない状態が続きました。お互いに仲直りをしたいけどどうやって伝えたらいいかわからなくなってしまったとき、あゆみさんはこの詩を作りました。

大口台小学校の子どもたちも、毎日子ども同士のかけがえのない集団生活を送っています。それを支え、応援し、導き、励まし、慰めながら子ども一人ひとりの成長を促していく、そんな学校を目指して、教職員全員がこれからも力を尽くしていきます。ご家庭、まちのみなさまのご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

平成29年度の教育活動も、各ご家庭、まちのみなさま、関係諸機関のご理解とご協力のもとに、まとめの時期となりました。まちとともに歩む学校、健康・体力づくり、自己肯定感が身に付く教育実践など、学校の特色を支えていただきありがとうございました。来年度もよろしくお願いいたします。

シャングルシムのでっぺんで
なせだか涙があふれてきた
仲よしのはずなのに今日はずっと違っていた
わざと別の友達と話してみただけど、やっぱり気になる
わかってくれる友達なのに、あやまれない自分がいる
やさしい風が吹いてきて、涙をこぼしてしまっていた
明日はきこつて、仲よくなれる
希望をもってまたあした、ここに二人で登りたい
何の話をしようかなふわっと風がまた吹いた
ちよつと悲しくなったとき、シャングルシムのでっぺんで
空に向かつて、ひびくように
大丈夫だよって風が、お話ししてくれる
希望と元気を連れてきて、やさしい気持ちにしてくれる
早く明日がこないかな、早く明日がこないかな。
作詞：萩原あゆみ、作曲：グッチ裕三、編曲：福田和子

《お知らせ》

昨年度より、横浜市立小学校は「離任式」を「修了式」とあわせて行います。平成29年度は以下のように行います。

平成29年度
修了式 離任式

平成30年3月23日（金）

10:40~11:25

本校体育館

式の詳細及び退・離任者については、3月中旬頃にご案内します。